

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

米・水田、畑作・野菜、酪農・畜産対策で中央行動を実施

道農連は、11月20日～21日に米・水田農業対策、21日～22日に畑作・野菜対策、29日～30日に酪農・畜産対策で中央行動を実施し、道選出国會議員、農水省各担当課等へ要請した。

米・水田農業対策は、各地区総勢20名で、米・水田農業基本政策の確立を要請し、水田活用直接支払交付金の予算確保や稲作の生産基盤強化対策の拡充などを求めた。

畑作・野菜対策は、各地区総勢44名で、持続可能な本道畑作・野菜政策を要請した。国際貿易交渉における国境措置の確保、持続的な畑作農業の確立に向けた施策の拡充・強化、野菜政策の強化を図る支援策の拡充・強化などを求めた。

酪農・畜産対策は、各地区総勢32名で、2019年度酪農畜産政策・畜産物価格等を要請した。予期せぬ自然災害への備えと対策、将来を展望できる畜産物価格、家族経営など多様な酪農・畜産を守り育てる各種関連対策の拡充・強化などを求めた。

全道・書記長事務担当者研修会を開催

道農連は11月14日に、全道・書記長事務担当者研修会を開催し、農林中金総合研究所の植田研究員を招いて「農業競争力強化に向けた制度改革の課題について」と題した講演を行った。植田氏は、近年の農業政策について「食料・農業・農村基本法制定後の農業政策は、産業政策に加え、条件不利地の農業活性化や農村振興などの地域政策が車の両輪として行われてきたが、近年は産業政策に偏っている」と述べ、安倍政権が進める農業競争力強化を強める農業政策の内容と課題を整理し、今後の農業政策のあり方について提起した。

次世代を担う組織活動に関する研修会を開催

道農連は11月13日、京王プラザホテル札幌で「次世代を担う組織活動に関する研修会」を開催し、全道から若手の盟友を中心に約90名が参加した。

第1部の研修会では、フリーアナウンサーで北海道観光大使を務める青山千景氏を迎え、北海道の魅力について講演した。

第2部では、中原浩一道農連書記長より「真の農政改革・組織活動について」と題し、農民運動の歴史と「真の農政改革」政策提言の内容を解説した。

11月の活動記録(上記以外)

- 5日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 6日 緊急三役会議
- 12日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会
- 13日 JA大会
- 30日 食とみどり、水を守る全国集会
(～12月1日)

道農業青色申告会・税務研修会を開催

JA道中央会、道農業会議、道酪農協会、道農連などで構成する道農業青色申告会(会長:中原浩一道農連書記長)は、11月14日に2018年度税務研修会を開催し、関係者ら約210名が参加した。

研修会では、道税理士会の松川武史税理士、札幌国税局課税第一部個人課税課の谷口真美記帳指導専門官が講師を務めた。

12月の活動予定

- 4日 全道農民総決起集会
全道地区・市町村委員長会議
- 5日 第3回組織・財政委員会
道農業青色申告会農業簿記・青色申告等講習会(～7日)
- 10日 食・みどり・水を守る道民の会定期総会・講演会
- 11日 国際貿易交渉・農政推進に関する中央行動(～12日)
- 15日 合成洗剤追放北海道連絡会第35回北海道集会
- 18日 第6回執行委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください
お申込み・お問い合わせは道農連事務局(TEL:011-241-5416)